

修正対照表『ダイバーシティ推進のためのアンケート2023調査結果報告書』（2025年6月30日）

| No. | ページ | 見出し/グラフ名                                   | 修正前                                                                    | 修正後                                                                          |
|-----|-----|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 9   | 回収状況                                       | 回収率は全体で5.1%、学生が <u>4.5%</u> 、教職員が10.2% でした。                            | 回収率は全体で5.1%、学生が <u>4.4%</u> 、教職員が10.2% でした。                                  |
| 2   | 9   | 回収状況 学生数（表）                                | 31,739                                                                 | 31,869                                                                       |
| 3   | 9   | 参考資料                                       | （なし）                                                                   | 中央大学（2023）「外国人留学生数（2023 年5 月1 日現在）」（国際センター提供）                                |
| 4   | 15  | 学内環境への意識                                   | 外国に（も）ルーツを持つ方が <u>安心して安心して学ぶ／働くことができる環境だ</u> と思うか否か                    | 外国に（も）ルーツを持つ方が <u>安心して学ぶ／働くことができる環境だ</u> と思うか否か                              |
| 5   | 23  | 年齢別による集計結果                                 | いずれの年代も「利用したことはないが、何をしている部署かは知っている」がもっとも高く、 <u>約50%弱から90%強</u> の割合でした。 | いずれの年代も「利用したことはないが、何をしている部署かは知っている」がもっとも高く、 <u>約45%から63%</u> という割合でした。       |
| 6   | 23  | 年齢別による集計結果                                 | 「利用したことがあり、知っている」は50代で20.8%と <u>比較的高く</u> 、他の世代では7% から13% 程度でした。       | 「利用したことがあり、知っている」は7% から13% 程度でした。                                            |
| 7   | 36  | あなたは中央大学が障害のある方が不自由なく学ぶ／働くことができる環境だと思いますか。 | 学内環境への意識   中央大学は外国に（も）ルーツを持つ方が <u>安心して学ぶ／働くことができる環境だ</u> と思うか（問6）      | 学内環境への意識   中央大学は障害のある方が不自由なく学ぶ／働くことができる環境だと思うか（問6）                           |
| 8   | 39  | 外国ルーツの有無による集計結果                            | 「やや思う」の割合も外国ルーツがある回答の方が5.6 ポイント高いため、外国ルーツがある回答の方が肯定的回答の割合は高いことがわかります。  | 「やや思う」の割合は外国ルーツがある回答の方が5.6 ポイント低いですが、全体としては外国ルーツがある回答の方が肯定的回答の割合は高いことがわかります。 |
| 9   | 43  | 障害の有無による集計結果                               | 「やや思う」の割合が約7 ポイント高いなど軽微な差はありましたが、肯定的な回答の割合に大きな差はありませんでした。              | 「やや思う」の割合が約8 ポイント高いなど軽微な差はありましたが、肯定的な回答の割合に大きな差はありませんでした。                    |
| 10  | 45  | 学年別による集計結果                                 | 「思う」の割合が1～3 年生は約41～46% で、4 年生以上と大学院生よりも約6ポイント高い値でした。                   | 「思う」の割合が1～3 年生は約41～46% で、4 年生以上と大学院生よりも約6から14 ポイント高い値でした。                    |
| 11  | 51  | 4. 取り組みや大学への感想・意見・要望                       | そこで、障害を持っている方や外国の方を皆が認めた上で少しの特別な眼差しを向けることがないようにすることが大切だと思う。            | そこで、障害を持っている方や外国の方を皆が認めた上で少しも特別な眼差しを向けることがないようにすることが大切だと思う。                  |
| 12  | 59  | 属性   教職員   勤務地（問13b）                       |                                                                        | （グラフのメモリ左端を0.0%に変更）                                                          |
| 13  | 61  | 学生   性的指向（問17）                             | ゲイ・レズビアン <u>8.0%</u>                                                   | ゲイ・レズビアン <u>1.4%</u>                                                         |
| 14  | 61  | 学生   性的指向（問17）                             | バイセクシュアル <u>1.4%</u>                                                   | バイセクシュアル <u>8.0%</u>                                                         |
| 15  | 61  | 教職員   性的指向（問17）                            | ゲイ・レズビアン <u>2.1%</u>                                                   | ゲイ・レズビアン <u>1.2%</u>                                                         |
| 16  | 61  | 教職員   性的指向（問17）                            | バイセクシュアル <u>1.2%</u>                                                   | バイセクシュアル <u>2.1%</u>                                                         |
| 17  | 66  | 取り組みの認知度                                   | 大学生活に困難を抱えているため情報を入手する必要がある <u>の</u> 可能性が考えられます                        | 大学生活に困難を抱えているため情報を入手する必要がある <u>といった</u> 可能性が考えられます                           |